

平成28年度 自己評価計画書

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	担当	現 状	評 価 の 観 点	実 現 状 況 の 達 成 度 判 断 基 準	判 定 基 準	備 考
1 国際社会を生きぬく人材の育成を主眼として、個々の生徒に応じた進路実現を目指し、全国の国公立大学にチャレンジしていく生徒を増やす。	① 生徒の思考力、判断力、問題解決能力、表現力の育成を目指し、授業力の向上を図る。	教務 全教職員	ICT機器を積極的に活用している教員の割合は88%に達しており、アクティブ・ラーニング(AL)の手法を取り入れた授業も多く見られるようになった。今後はICT機器の活用で板書や説明の時間を圧縮し、ALの手法を導入しながら、生徒の思考力、判断力、問題解決能力、表現力の育成を図る。	【努力指標】 本校の目標に沿って、思考力判断力、問題解決能力、表現力を育成するための授業改善の取組が行われている。	授業において、一方的な講義形式による知識注入でなく、生徒の思考力、判断力、問題解決能力、表現力の育成を図る活動を行っているか。 (ア) 毎時間行っている (イ) ほぼ行っている(7割以上) (ウ) 時々行っている(3割～5割) (エ) 行っていない	(ア)+(イ)の% 90%以上 A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満 D	学校評価(教員)で調査する。 授業評価で調査する。
	② 授業や総合的な学習の時間等の活動を通して、生徒が自ら課題解決に取り組む姿勢を育む。	NSH推進 教務 学年	各教科からの週課題を学年主任が調整する体制を整え、家庭での学習習慣の確立に繋げている。また、ALの手法を授業に取り入れることで、自主的、協同的な学習を進めている。今後は個々の生徒の学力レベルや、どの時期にどの教科の力をつけるべきかを学年で調整しながら、各教科が連携して学習指導に取り組む。	【成果指標】 生徒自身が主体性を持って自らの学習を進めようとする姿勢がある。	自らの学習について (ア) 授業や学校で与えられる課題以外に、独自の学習に取り組んでいる。 (イ) 授業や学校で与えられる課題に積極的に取り組んでいる。 (ウ) 授業や課題には取り組んでいるが、自らを高めようとする努力や意識が足りない。 (エ) どちらかというとその場しのぎの学習ばかりで、極端に悪い成績を取らない程度の学習状況である。	(ア)+(イ)の% 50%以上 A 40%以上 B 30%以上 C 30%未満 D	学校評価(生徒)等で調査する。
	③ 国際共通語である英語によるコミュニケーション能力を身につけようとする態度と能力を育成する。	NSH推進 英語科	文部科学省指定の「教育研究開発」(H21～H24年度)において展開した英語教育を継承し、実践的な英語によるコミュニケーション能力の育成を図っている。	【成果指標】 英語によるコミュニケーション能力はどの程度伸長したか。	2年次12月に受検するGTECの本校の平均スコアが、前年1年次12月に受検した同平均スコアに比べ、何点の伸びがあったか。	50点以上 A 45点以上 B 40点以上 C 40点未満 D	GTEC受検 H29 1月～ 2月に集計
	④ 高い志を持って進路達成に向かう生徒を育て、個々の生徒に応じた進路志望を達成する。	進路指導 教務 学年 教科	昨年に続き現役生が京大に合格した。難関大志望者を中心に個別の添削指導を早期から実施した結果、8年ぶりに難関大合格者を2桁に乗せることができた。	【成果指標】 ア 難関大学合格者数 10名以上 イ 金沢大学合格者数 60名以上 ウ 国公立大学合格者数 180名以上	合格者数が A ア・イ・ウの3指標すべてを達成 B ア・イ・ウのうち、2指標を達成 C ア・イ・ウのうち、1指標を達成 D ア・イ・ウの3指標とも達成できず	Dの場合、進路指導体制を見直し、改善策を検討する。	3月に集計する。
	⑤ 「進学校における部活動」を追求し、顧問を第2の担任と位置づけ、部活動指導の一貫として学習指導にも積極的に関わる。	生徒指導 進路 学年 各部顧問	定期試験前や長期休業中の学習会を部活動単位で実施したり、顧問が休業中の課題の提出状況を確認するなど、顧問が積極的に生徒の学習を支援する体制が整ってきている。今後はより効率的な部活動を運営し、生徒の家庭学習時間増加を図る。	【努力指標】 顧問は第2の担任として、生徒の学力、進路志望の状況を把握し、生徒の進路実現に関わっている。	第2の担任という立場で、部活動指導の一貫として生徒自らが学習に向かう姿勢と環境を整えているか。 (ア) 十分整えている (イ) ほぼ整えている (ウ) あまり整えていない (エ) 整えていない	(ア)+(イ)の% 90%以上 A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満 D	学校評価(教員)で調査する。

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	担当	現 状	評 価 の 観 点	実現状況の達成度判断基準	判定基準	備 考
2 校訓「質実剛健」を不易のものとし、生徒の規範意識と自律心の向上を図り、高い目標と強い意志を持ってたくましく生きる生徒を育てる。	① 登下校指導、街頭指導、挨拶運動を通して規範意識を向上させる。	生徒指導総務	本校生の服装・挨拶等がきちんとしていることについては高い評価が与えられているが、まだまだ十分とは言えない生徒も一部見受けられる。また、服装や挨拶等の指導に関して、職員の中で多少の温度差があるという意見もあり、職員一丸となり、より積極的な指導を進めていく。	【成果指標】 生徒は、服装容儀がきちんとしており、積極的に挨拶をする。	・きちんとした頭髮・服装をしている ・積極的に挨拶をしている この2つの点について (ア) よくあてはまる (イ) ほぼあてはまる (ウ) あまりあてはまらない (エ) あてはまらない	(ア)+(イ)の% 90%以上 A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満 D Dの場合、指導方法を検討する。	学校評価(教員・生徒・保護者)で調査する。
	② 交通安全教室、自転車マナー・ルール検定、街頭指導等を通して交通ルール遵守の指導を行う。	生徒指導総務	東金沢駅から本校までの通学路に全教員が交代で立ち、登校指導を実施しているが、昨年度は自転車による事故の件数が増加した。登校中の事故が目立ったことから、毎朝、余裕を持って登校するよう生活全般にわたる指導を展開していく。	【成果指標】 生徒は交通ルールを遵守している。	私は、自転車に乗車するときは交通ルールを (ア) いつも守っている (イ) だいたい守っている (ウ) あまり守っていない (エ) ほとんど守っていない	(ア)+(イ)の% 90%以上 A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満 D C以下の場合、改善策を検討する。	学校評価(教員・生徒)で調査する。
	③ 部活動の活性化を通して、競技力や技能の向上に努めるとともに、生徒の自主性や自立心の育成を図る。	生徒指導各部顧問	「文武両道」を校是として、部活動加入率は90%を超えており、昨年は北信越等のブロック大会以上に運動部8、文化部6が進出した。しかしながら、県高校総体の成績が伸び悩んでいる。	【努力指標】 各部活動が本年度の目標を設定し、その達成度をみる。	本年度の目標を達成することができたか。 (ア) 達成することができた (イ) だいたい達成することができた (ウ) あまり達成することができなかった (エ) 達成することができなかった	(ア)+(イ)の% 90%以上 A 80%以上 B 70%以上 C 70%未満 D Dの場合、改善策を検討する。	2月に調査(教員)する。
				【成果指標】 各部活動が北信越等のブロック大会以上に進出する。	北信越等のブロック大会以上に A 20以上の部活動が進出 B 15以上の部活動が進出 C 10以上の部活動が進出 D 10未満の部活動が進出	C以下の場合、改善策を検討する。	
	④ 幅広い読書を意欲的に行うことで思考と情操を深め、自らの人格形成に活かし生徒の育成を図る。	図書学年	昨年4月に新校舎が完成したが、書架が9月まで未整備であったことから、開館が10月まで延びてしまった。また、1年生に対する図書館利用オリエンテーションも実施できなかった。	【成果指標】 生徒が一人1冊以上の本を図書館から借りる。	年間貸出冊数が A 1500冊以上 B 1200冊以上 C 1000冊以上 D 1000冊未満	C以下の場合、改善策を検討する。	3月に集計する。
⑤ 生徒面談シートを活用し、PDCAサイクルを意識させた面談を行い、生徒が主体的に目標の達成に取り組む自律の態度を育成する。	学年教務生徒指導	1年生については、家庭学習の時間を確保することが授業の理解には不可欠であることを生徒に伝えてきたが、学習時間は伸び悩んだ。スマートフォン等の使用が多いという保護者の声もあった。 2年生については、家庭学習時間が安定していない生徒が少なくない。学習課題を与える取組から、自主的な取組にどのようにつなげていくかが今後の鍵である。	【成果指標】 家庭学習時間が学年の目標値に達している。	家庭学習時間が学年の目標値に達している生徒の割合が A 60%以上 B 50%以上 C 40%以上 D 40%未満	Dの場合、改善策を検討する。	学校評価(生徒)等で調査する。	
			【成果指標】 家庭でのスマートフォン使用制限(午後9時～11時)を守っている。	家庭でのスマホ使用制限を (ア) いつも守っている (イ) だいたい守っている (ウ) あまり守っていない (エ) ほとんど守っていない	(ア)+(イ)の% 60%以上 A 50%以上 B 40%以上 C 40%未満 D Dの場合、改善策を検討する。		

石川県立金沢桜丘高等学校

重点目標	具体的取組	主担当	現 状	評 価 の 観 点	実 現 状 況 の 達 成 度 判 断 基 準	判 定 基 準	備 考
3 教育目標達成のため、教職員自らが資質向上に励むとともに、学校の教育活動に参加する保護者の増加を図り、信頼される学校づくりに努める。	① 校長が示すビジョンとリーダーシップのもと、全教職員が組織的に協力し合いながら学校経営がなされている。	全職員	会議の効率化や分掌業務の見直しに努めた結果、取組が速やかに実行されるようになり、各教員の生徒と向き合う時間が充実してきた。NSH推進課・進路指導課・教務課・各学年がさらに連携を密にし、生徒の進路実現に資する取組を展開していく。	【満足度指標】 教職員の共通理解のもと学校運営がなされている。	いしかわニュースーパーハイスクールとして教職員の共通理解のもと、学校運営がなされていると感じる教職員の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 75%以上 D 75%未満	Dの場合、分析および改善の検討を行う。	学校評価(教員)で調査する。
	② 校内研修会をより充実させ、今日的教育課題の理解とそれに対応しうる教員の資質を高める。	総務	昨年10月に産業能率大学の小林先生を講師に迎え、アクティブ・ラーニング(AL)の研修を実施した。本研修以降、ALの手法を实践する教員が飛躍的に増加した。引き続き研修会の機会を確保していきたい。	【満足度指標】 研修に取り組むことにより専門性と指導力が高まり、以後の教育活動に役立てることができたと感じられる。	取り組んだ研修の成果を教育活動の充実に役立てることができたと感じる教職員の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 75%以上 D 75%未満	Dの場合、改善の検討を行う。	学校評価(教員)で調査する。
	③ 保護者が本校の教育活動に参加する機会を増やすことにより、生徒の活動の様子を直に見てもらい、家庭と学校との連携を更に深める。	総務 教務 生徒指導 学年 情報	3S歩行では、保護者の参加協力者が500名以上にのぼり、多くの保護者に参加して頂ける流れが確立した。また、ホームページの年間アクセス件数も前年比6万件増の19万件を越えた。さらに、メール配信システムを活用し、学校情報の提供を積極的に進めている。	【成果指標】 保護者が子どもと学校への理解を深めるため学校行事に参加したか。	今年度、保護者が下記を例とする本校の学校関係の行事に参加した回数が (ア) 5回以上 (イ) 2～4回 (ウ) 1回 (エ) 0回 行事 PTA総会 学校公開 進路説明会 3S歩行 部活動の応援・見学 等	(ア)+(イ)の% 70%以上 A 60%以上 B 50%以上 C 50%未満 D	Dの場合、学校行事の内容やPR方法を検討する。